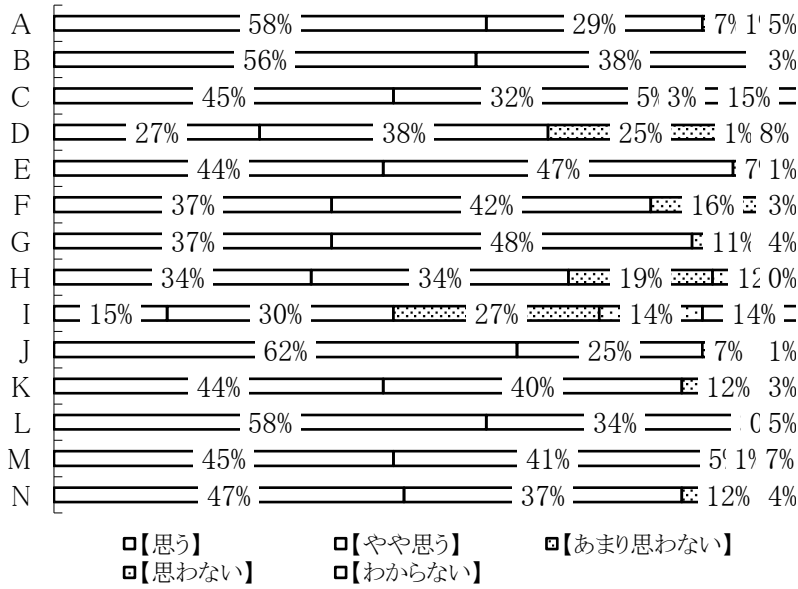
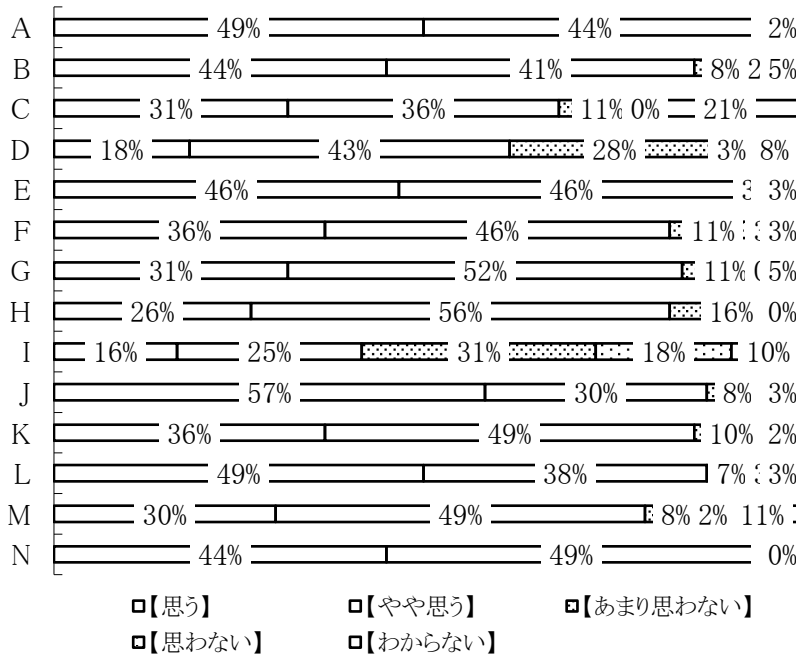


平成 30 年度のアンケート結果



質問項目	
A	学習指導が行き届いている。
B	生徒(生活)指導が行き届いている。
C	進路指導が熱心に行われている。
D	クラブ活動が活発である。
E	学校行事が盛んである。
F	子どもはよく挨拶をする。
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。
H	子どもは学習習慣が身についている。
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。
J	子どもは楽しく学校に登校している。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。
M	学校のホームページは充実している。
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。

令和元年度のアンケート結果



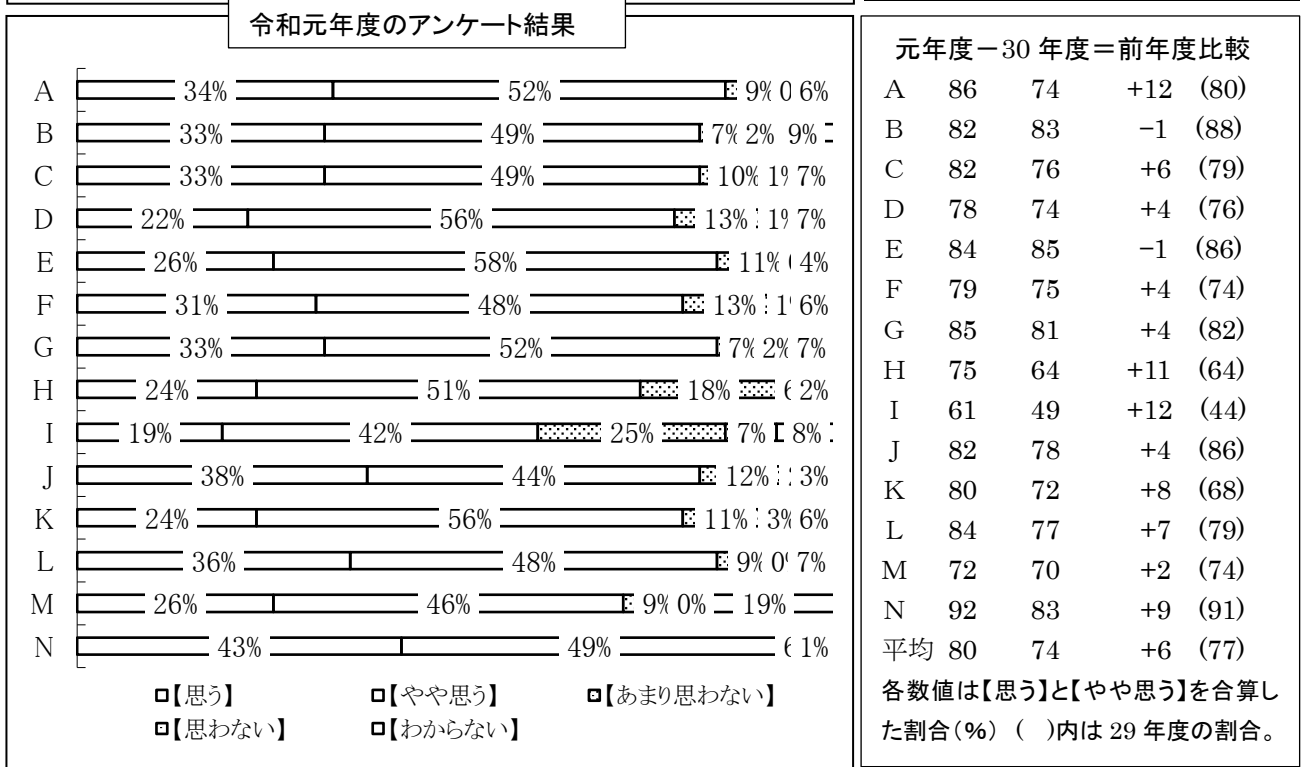
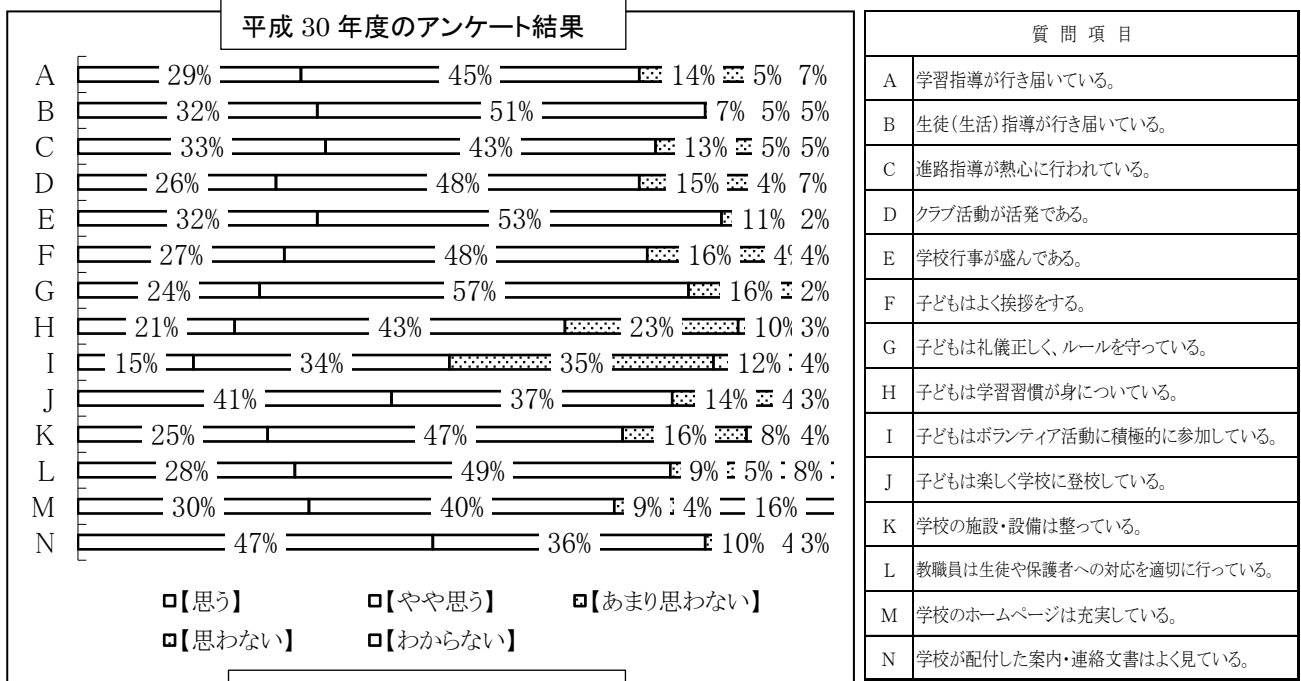
元年度 - 30 年度 = 前年度比較

A	93	87	+6	(90)
B	85	94	-9	(90)
C	67	77	-10	(87)
D	61	65	-4	(68)
E	92	91	+1	(93)
F	82	79	+3	(74)
G	83	85	-2	(86)
H	82	68	+14	(66)
I	41	45	-4	(40)
J	87	87	0	(91)
K	85	84	+1	(86)
L	87	92	-5	(92)
M	79	86	-7	(86)
N	93	84	+9	(94)
平均	80	80	0	(82)

各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%) ()内は 29 年度の割合。

評価分析

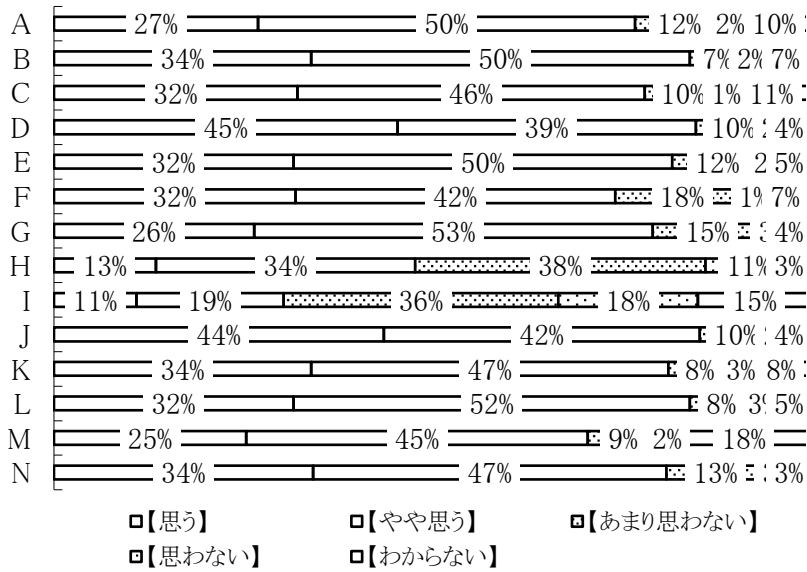
ここ数年、肯定的評価は平均で 80%台と高い評価を保っている。A「よくわかる授業」93%と H「学習習慣」82%の伸び率が目立つが、生徒アンケート結果と比較すると「よくわかる授業」では 3%保護者の評価が高く、「学習習慣」では 10%も保護者の評価が低い。「学習習慣」はどちらの評価も昨年比 14%も上昇したことは事実であるが、生徒の自己評価と厳しめの保護者の評価が、次第に一致するようさらに努めていきたい。一方課題は、今年度大きく評価を落とした B「生徒指導」と C「進路指導」である。この 2つの評価は生徒アンケート結果とも一致することから、この分野での指導内容・方法に対する総括をしっかりと行い、改善策を講じて来年度の課題として取り組んでいきたい。



評価分析

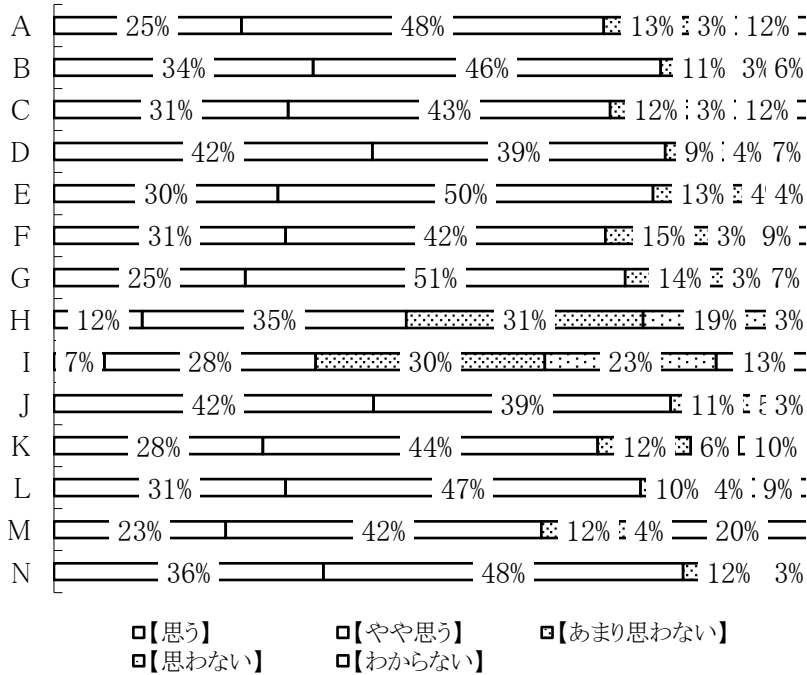
特筆すべきは、好意的評価の平均が一気に 80%に達し、昨年まで六年制は常に付中の評価よりも低い傾向にあったが、付中への評価と並んだことである。ただし、生徒評価の平均 68%と比較すると 12%も保護者評価が高いということが何を意味しているのか。付中の保護者と生徒の評価はほぼ一致しているのに、なぜ六年制ではこのような相違が生まれるのか。高校生の目線が厳しいということなのか、慎重に検討したい。その他、A「よくわかる授業」が 12%、H「学習習慣」が 11%、I「ボランティア活動」が 12%と評価を大きく伸ばした点も生徒評価と共通しているが、更なる向上に努めていきたい。

平成 30 年度のアンケート結果



質問項目	
A	学習指導が行き届いている。
B	生徒(生活)指導が行き届いている。
C	進路指導が熱心に行われている。
D	クラブ活動が活発である。
E	学校行事が盛んである。
F	子どもはよく挨拶をする。
G	子どもは礼儀正しく、ルールを守っている。
H	子どもは学習習慣が身についている。
I	子どもはボランティア活動に積極的に参加している。
J	子どもは楽しく学校に登校している。
K	学校の施設・設備は整っている。
L	教職員は生徒や保護者への対応を適切に行っている。
M	学校のホームページは充実している。
N	学校が配付した案内・連絡文書はよく見ている。

令和元年度のアンケート結果



元年度 - 30年度 = 前年度比較			
A	73	77	-4 (78)
B	80	84	-4 (82)
C	74	78	-4 (76)
D	81	84	-3 (85)
E	80	82	-2 (81)
F	73	74	-1 (73)
G	76	81	-5 (74)
H	47	47	0 (47)
I	35	30	+5 (33)
J	81	86	-5 (85)
K	72	81	-9 (76)
L	78	84	-6 (82)
M	65	70	-5 (64)
N	84	81	+3 (84)
平均	71	74	-3 (73)

各数値は【思う】と【やや思う】を合算した割合(%) ()内は 29 年度の割合。

評価分析

生徒アンケートと同様に 3%、保護者アンケートの肯定的評価も下降した。各項目の下げ幅が目立った特徴があるわけではなく、どの項目も一様に下がったと見て取れる。その中で注目したい項目は B「生徒指導」である。この B については、生徒評価では昨年比 8% 下降し 58% となったのに対して、保護者評価は今年度下降したとは言え、依然 80% と高い評価を保っている。その傾向は D「クラブ活動」、E「学校行事」、J「学校楽しい」の評価 80% 以上をいただいた 3 項目にも共通している。さらに、M「ホームページ」が生徒はたったの 11% であるに対して、保護者が 65% である点に着目すれば、保護者の学校に対する期待感や支援の表れと見て取れ、感謝したい。